NIIGATA 市報にいがた

2022 6/19 No.2769

|令和4年6月19日|第1･3週　日曜発行|

＊第2･4･5週の発行はありません。

編集・発行／新潟市広報課　〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1　☎025-226-2089

※掲載情報は６月９日時点のものです

1人1日 おにぎり1個

日本で捨てられている食べ物の量です（重量比）

目　次〉CONTENTS

|特　集|

1･2 みんなで減らそう食品ロス

3 にいがたCITY NOW
- 新潟まつり 参加者・協賛者を募集
- ミズベリング 信濃川やすらぎ堤

4
- ウクライナ避難民支援募金
- マイナンバーカード 出張申請受け付け会
- 浸水対策に助成
- 結婚新生活支援補助金
- マンガ大賞作品募集

5 連載　子育て応援通信 輝く高校生 Noismを探る

他3ページは区役所だより「情報ひろば」は別冊で発行しています

みんなで減らそう 食品ロス

問 循環社会推進課（☎025-226-1391）

食品ロスの現状

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられている食べ物のことです。

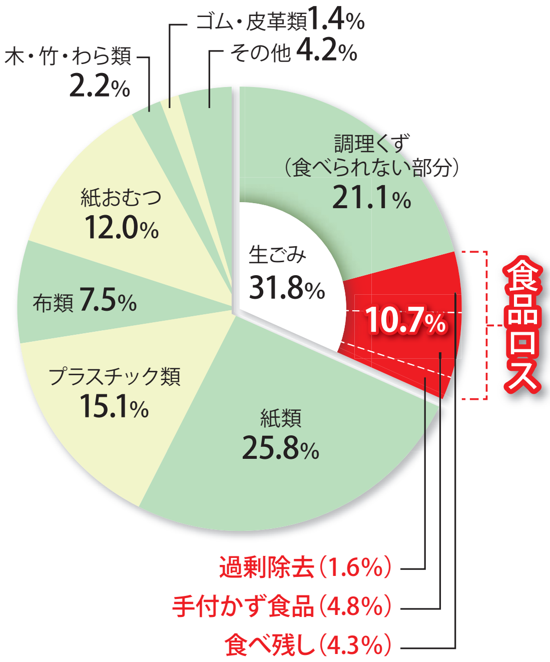
新潟市の家庭から出された燃やすごみのうち、約１割が食品ロスです。年間で約1万4千トンの食べ物が捨てられていることになります。近年は減少傾向にあるものの、まだ多くの食べ物が廃棄されており、引き続き食品ロス削減への取り組みが必要です。

作り過ぎによる「食べ残し」や消費期限切れの「手付かず食品」、皮を余分にむく「過剰除去」が食品ロスの主な原因だよ。

新潟市ごみ減量推進キャラクター「サイチョ」

新潟市の家庭から発生した燃やすごみの内訳（令和３年）

※速報値



「もったいない」精神で食品ロス削減

せっかく買った食べ物を捨てることは、お金を捨てることと同じです。食品ロスを減らせば家計の節約になります。

また、余った食べ物はごみとして焼却処分されます。ごみを燃やすときに発生する二酸化炭素は地球温暖化の原因になるため、食品ロスを減らすことは地球温暖化の防止にもつながります。

私たち一人一人が食べ物の大切さを考え、「もったいない」精神で食品ロスを減らす取り組みをしていきましょう。

2面では、食品ロスを減らすために家庭で取り組めるポイントを紹介します。